



新入生に向けて

図書館館長 佐々木 香



5月の連休も終わり、新入生のみなさんは、どのような大学生活を送られているでしょうか。4月の研修会、ガイダンスで、これから4年間このキャンパスで過ごすための、さまざまなアドバイスがあったと思います。大学に来て、友だちも作らず、なんとなく授業を聞いて、なんとなく毎日を過ごすことほど、つまらないことはありません。まずは、自分から近くの人に話しかけて、一人でも多くの知り合いを作りましょう。

みなさんは、勉強の仕方がわかりますか？どの科目には、どんな本が役立つかわかりますか？日々の授業をおもしろく感じるか、苦痛に感じるかは、自分次第です。

「わからない」ことが最大の苦痛だと思います。どうぞ、先生になんでも積極的に聞いてください。そして図書館を大いに活用してください。各授業の参考図書を、図書館の職員の人に聞いてみるのも一つです。



「小林秀雄の世界」

「図書館企画」 シリーズ

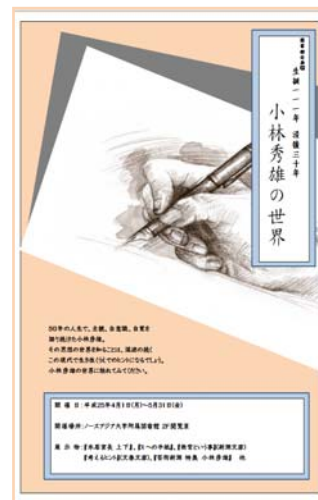
4月より本学図書館2階閲覧室にて、図書館企画「小林秀雄の世界」を開催いたしております。

50年の人生で、主観、自意識、自覚を語り続けた小林秀雄。

その思想の世界を知ることは、混迷の続くこの現代で生き抜くうえでのヒントになるでしょう。

小林秀雄の世界に触れてみてください。

- 開催日：平成25年4月1日(月)～5月31日(金)
- 開催場所：ノースアジア大学附属図書館 2F閲覧室
- 展示物：『本居宣長 上下』、『X への手紙』、『無常という事』(新潮文庫)
『考えるヒント』(文春文庫)、『芸術新潮 特集 小林秀雄』他



新着案内

請求記号	書名	著者	出版社
304/I33	日本の選択	池上彰	角川書店
141.8/Ma15	スタンフォードの自分を変える教室	ケリー・マクゴニガル	大和書房
210.04/A25	歴史が面白くなる東大のディープな日本史	藤尾健剛	勉誠出版
778.8/033	大河ドラマと地域文化	大石学	高城書房
114.2/Mi97	夜回り先生いのちの授業	水谷修	日本評論社
913.6/Mi67	舟を編む	三浦しをん	光文社
913.6/A12/1.2	等伯 上下	安部龍太郎	日本経済新聞出版社
913.6/Y79	何者	朝井リョウ	新潮社
491.8/A14	安保徹の新体温免疫力	安保徹	ナツメ社

ベストリーダー

平成24年度 貸出が多かった図書です。



請求記号	タイトル	著者
1 326.1/Ka97	刑法総論	川崎一夫
2 326/Ma26/A	刑法入門	大塚仁
3 326.1/Ma26/	刑法総論論議	前田雅英
4 324/Mi91	確認民法用語300	三好登〔ほか〕
5 222.04/Ka94	魏晋南北朝	川勝義雄
6 498.55/W46	暮らしの栄養学-知りたかった栄養の基礎がわかる	渡邊早苗、飯倉弘重
7 324/U14/1B	総則・物権総論	内田貴
8 323.14/I89.3	伊藤真の憲法入門-講義再現版	伊藤真
9 222.01/Ma81	中国史	松丸道雄〔ほか〕
10 324/C67a/9	抵抗権・譲渡担保・仮登記担保他	柚木馨、高木多喜男
11 324/U14.1/3	債権総論・担保物権	内田貴
12 324/Y19/4A	債権各論	藤岡康宏〔ほか〕
13 913.6/H55	白夜行	東野圭吾
14 783.47/H35	心を整える-勝利をたぐり寄せるための56の習慣	長谷部誠
15 230.4/A12e	中世を旅する人びと-ヨーロッパ庶民生活点描	阿部謹也
16 222.01/MA8	中国史	松丸道雄〔ほか〕
17 326.1/N81	刑法総論	西田典之
18 326.1/Ma81	刑法総論講義	松宮孝明
19 324/Ma77	物権・担保物権法	松井宏興〔ほか〕
20 491.4/O54	基礎から学ぶ生化学	奥恒行
21 007.6/H64/1	ハードウェア・ソフトウェア	平井利明〔ほか〕
22 331/N43	入門マクロ経済学	中谷巖
23 159/196	入社1年目の教科書	岩瀬大輔
24 164/Se22/2	エジプトの神話-兄弟神のあらい	矢島文夫
25 498.55/Ma68	ビタミンミネラルBOOK	舩重正一、鈴木和春
26 326.1/O94	刑法講義総論	大谷實
27 913.6/196	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海
28 914.6/H69	ぶれない	平山郁夫
29 338.95/H67	現代外国為替論	平島真一
30 332.3/Ta56	欧州危機の真実-混迷する経済・財政の行方	高屋定美

定期購読誌紹介

第3回目

経済セミナー
(日本評論社)



『経済セミナー』は、日本評論社から出版されている経済学系の隔月刊誌です。「タイムリーにして骨太の必須トレンドを読者に提供する」という謳い文句の通り、最新の研究動向を知ることができ、大変に読み応えのある雑誌です。本雑誌は特集、シリーズ、連載、書評から構成されています。

学部生が『経済セミナー』を読みこなすのは決して容易ではないかも知れませんが、最新の問題に対して、経済学がどのように応えているか、経済学者がどのように取り組んでいるかを理解する上で必読の雑誌であると考えます。

今回は経済学部の前田直哉先生に説明していただきました。

hotooひと息

「日記を書く」と「日記をつける」。皆さんはどちらをよく使いますか？

『日記をつける』(荒川洋治著/岩波現代文庫)には、「書く」は書いた文字がそのときだけそこにあればいいという、どちらかという、そういうものであるのに対し、「つける」はしるしをつける、しみをつけるがそうであるように、あとあとまで残る感じがある。」と書かれています。

手で書くことによって、消えない記憶となります。また手書きをすることによって、自分の字の変化を見ることができます。その字の変化は、自分の心境の変化につながっているかもしれません。

もし皆さんが今日から手書きの日記をつけたとして、4年後、あるいは2年後、この日記を読み返したとき、どんなことを思うのでしょうか。



《利用案内》

- 開館時間 月～金 午前8時30分～午後5時10分
※休館日(土・祝日、創立記念日4月26日)
- 貸出期間 2週間 ※長期貸出期間(夏季・冬季・春季)有り
- 貸出冊数 3冊まで ※卒論貸出・長期貸出5冊まで



ノースアジア大学附属図書館

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1
TEL018-836-2407 E-mail naulib@nau.ac.jp